

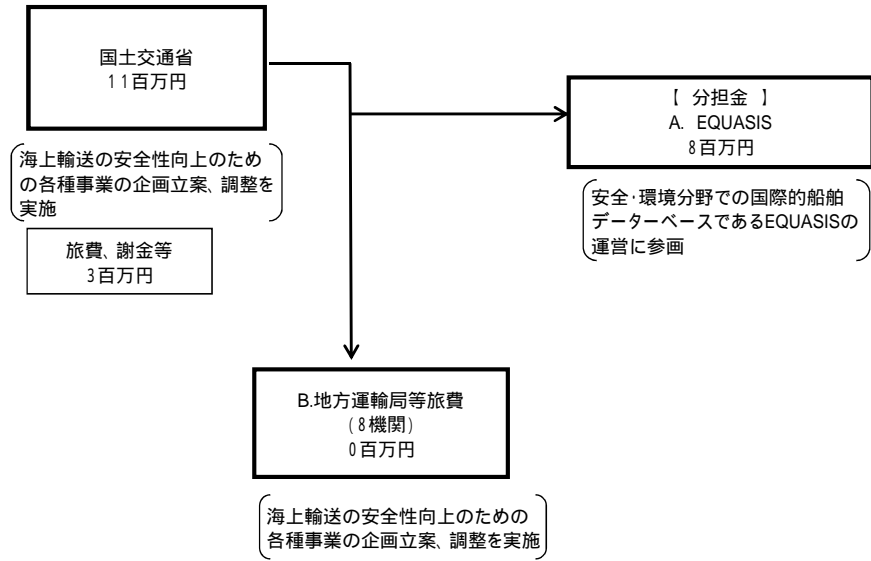
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	海上輸送の安全性向上のための総合対策		<b>担当部局</b>	海事局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H21~		<b>担当課室</b>	安全基準課 安全・環境政策課		課長 平原 祐 課長 加藤 光一		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	海上交通の現状等を踏まえた安全・環境性能の高い船舶の開発・普及や国際的な取り組みの強化による船舶の安全・環境性能の底上げを図るとともに、新たなニーズに対応した安全輸送基準の導入を図り、海上輸送の安全性向上を図ることを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	各種安全対策の実施にも関わらず、海難隻数は概ね横ばいであり、そのうちの約半数を占める衝突の多くは人的要因に起因している。こうした状況を踏まえて、人的要因等の事故の背景にある船舶を取り巻く社会環境の変化をも考慮した効果的な安全対策をソフト・ハード一体となって総合的に推進するため、EQUASIS第20回監督委員会で定めた国際的船舶データベース(2010年は月間1,129,000アクセス)運営費の日本国分担金を支出。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	22	11	10	10	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	22	11	10	10	
		執行額		20	11			
	執行率(%)		91%	100%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は国際約束に基づく拠出金が主体であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業は国際約束に基づく拠出金が主体であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)				( )	( )
<b>単位当たりコスト</b>	(円 / )		算出根拠					
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	国際民間航空機関等拠出金	7	6					
	職員旅費	3	3					
	公共交通等安全対策調査費	0	1					
	計	10	10					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>EQUASISの国際的船舶データベースについては、加盟国(関係機関を含む。)に分担金の拠出が求められており、支出を行わないことは不可能であるが、他の加盟国との連携を図りつつ、事務局に対して引き続き効率的な運営を求めていくこととする。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 拠出金の執行は現状維持としたが、平成22年度より調査費事業を廃止し予算額を半減した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		EQUASISの拠出金については、国際約束で決められた分担金を支出しなければならないことから、現状通りとする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. EQUASIS			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	運営費用(運営費計475,384ユーロを 参照する8ヶ国で均等割)	8			
計		8	計		0
B.地方運輸局等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	海上輸送の安全性向上のための調整 等	0			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.EQUASIS

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	EQUASIS (European Maritime Safety Agency)	船舶の安全情報を非商業目的として提供するデータベース「EQUASIS」の運営する国際約束により設置された機関	8	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.地方運輸局等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関東運輸局	海上輸送の安全性向上のための各種事業の企画立案、調整を実施	0	-	-
2	近畿運輸局	〃	0	-	-
3	九州運輸局	〃	0	-	-
4	東北運輸局	〃	0	-	-
5	中部運輸局	〃	0	-	-
6	神戸運輸監理部	〃	0	-	-
7	四国運輸局	〃	0	-	-
8	北陸信越運輸局	〃	0	-	-
9					
10					